

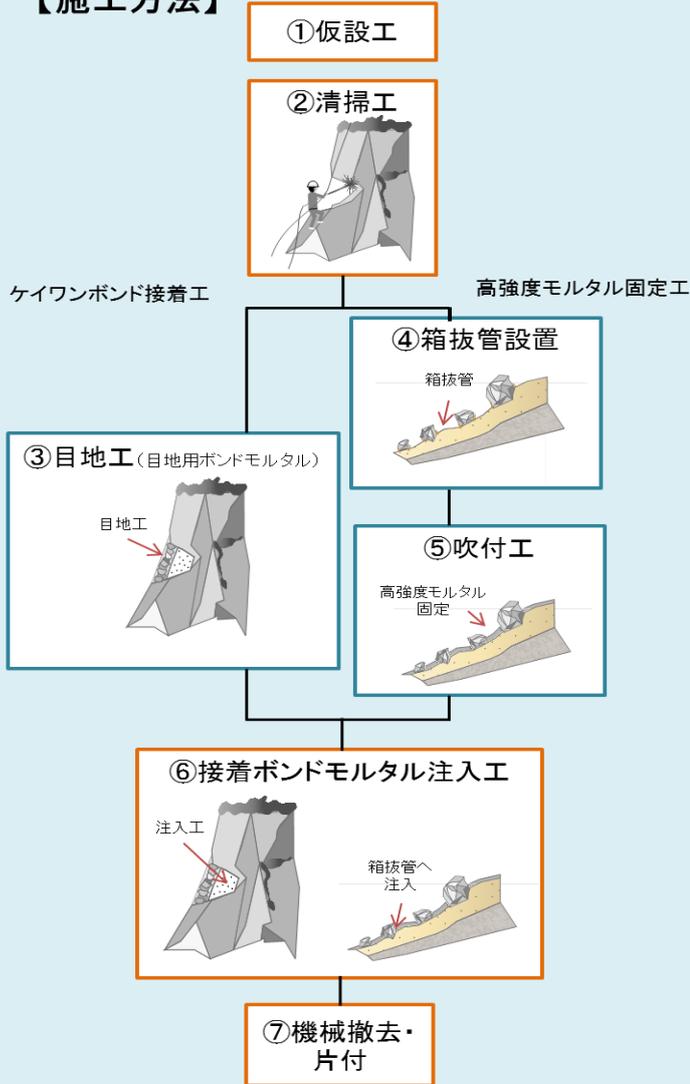
## 技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全・防災 <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質                    （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	ケイワンボンド工法	担当部署	事務局
NETIS登録番号	KT-140138-A	担当者	高橋 一馬
社名等	楽石研究会	電話番号	072-232-6060
技術の概要	<p><b>1. 技術開発の背景及び契機</b></p> <p>現在我が国では、頻発する異常気象や不安定な地質基盤の影響で発生する想定外の自然災害に対し、道路利用者の安全確保や固定資産の保全が強く求められています。道路における落石災害は、複数の要因で発生する可能性が高いといわれています。その落石を根本から強力に固定し、頻度を極力低減させ安全を確保する、ということをコンセプトにケイワンボンド工法は開発されました。</p> <p><b>2. 技術の内容</b></p> <p>ケイワンボンド工法は、岩塊や転石群にボンドモルタルを吹付・注入し安定させる工法です。現場状況に応じ高強度モルタル及び接着ボンドモルタルを組み合わせる岩接着工を選定することも出来ます。本技術の活用で不安定な岩塊・転石を地山に固定し、より安全な落石対策をすることが可能になります。</p> <p><b>3. 技術の効果</b></p> <p>ケイワンボンド工法は、1㎡辺り25tの協力的な接着効果を持っており、急斜面や高所等で大型機械搬入が困難な工事箇所にも対応が可能で、工程も大幅に短縮出来ます。また、森林伐採や河川汚濁といった環境破壊を最小限に留め、周辺環境に配慮した施工が出来ます。応用した使い方として個々の不安定な転石を一体化することで安定形状に切り替えることも可能です。</p> <p><b>4. 技術の適用範囲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資材搬入ができる場所での施工が可能です。</li> <li>・勾配1:0.2以下の傾斜で施工が可能です。</li> <li>・高所等で大型機材搬入が困難な場所での施工が特に効果の高い適用範囲となります。</li> <li>・撤去・搬入が不可能な転石群への施工も特に効果の高い適用範囲とされます。</li> </ul> <p><b>5. 活用実績</b></p> <p>国の機関    0 件（九州    0件、九州以外 0件）                  自治体      0 件（九州    0件、九州以外 0件）                  民間        0 件（九州    0件、九州以外 0件）</p>		

6. 写真・図・表

【施工方法】



施工方法



高強度モルタル吹付実証実験方法



実験経過写真



実験体落下後の鉄板状況